

軽量化推進でMR-Sはさらに楽しく進化 ルーフの軽量化で クルマの動きはシャープになる!!

by TRIAL

軽量カーボンルーフだと……
軽くてロール量も減った!?



チューニングを語るうえで、軽量化が効果的なゴトは周知の事実
ライトウエイトモデルには一層効果的で、軽くなるのがクルマの上側なら、より効果的なのは間違いない
いったいどのくらいフィーリングが変化するのか? その気になるところを検証してみた

対純正10kgの違いは
想像以上にデカかった!

絶版から2年。ライトウエイト
スポーツを嗜好するユーザーから
いまも高い支持を得るトヨタのオー
ブン2シータースポーツがMR・S
だ。トリアルがこのクルマに施し
たのは、軽量化。先代のMR2にも
勝るフアンロードドライブの世界を提
供するために、シェイプにシェイプ
を重ねたボディのウエイトはじつに
1tを切る980kg!(MT車)。

搭載されている1ZZ型エンジ
ンは最高出力こそ140psと、いま
となつては非力な部類に入ってしま
うが、軽量化のおかげもあって走り
は元氣そのもの。ワインディングを
流すのが、これほど楽しいと思える
クルマはない。もちろん、ミニサー
キットを走るのも得意中の得意。大
きなサーキットに持ち込んでタイ
ムにさえ大きくこだわらなければ、
十分スポーツドライブینگを満喫で
きるレベルに落ち着いている。

ただ、ライトウエイトを武器に運
動性を高めたクルマだけに、ちょ
っとした重量増でも走る楽しさが大
きくスポイルされてしまう。たとえ
ば、空力面の強化を狙って純正のハ
ードトップを装着したときのドライ
ビングフィールは、それまでと大違
い。とくにルーフは重量物を上のほ
うに載せることになるので、コーナ
リング時のロール量が増えてしまっ
たり、クルマの挙動が大きく変わっ
てしまうことになってしまうのだ。

MR・Sのオリジナルパーツを数
多く展開するトリアルがラインア
ップする、オリジナルのカーボンハ
ードトップは、MR・Sの持ち前の
ライトウエイトさを活かすことな